

## 小特集

### さまざまな病院図書室

## 医療情報センターとしての取り組み

後藤 久恵

### 1. はじめに

病院図書室は病院の機能、目的と密接に係っている。

電子メディアの発達、出版形態（冊子体・CD-ROM・インターネット）の多様化と情報収集、提供の方法に変化をもたらした。図書室は、従来の「物の管理」に加えて「情報の管理」、新たな第三者による医療機能評価「質の管理」の時代になってきた。

### 2. 病院概要

当院は、病床数675床、診療科26科、職員数約668人の臨床研修指定病院、救命救急センター、エイズ拠点病院、腎移植病院等の指定を受けた県の基幹病院である。そして病院から車で10分程度の範囲にある島根医科大学、県立看護短大等の教育実習病院でもある。

当図書室の所属は、医療技術局医療情報管理科で、診療支援部門である。業務内容は、外来診療録編綴、退院後の入院診療録管理、フィルム管理、診療記録・行為の印刷物、死亡患者記録、血液製剤、手術部門事務及び図書に関することで他病院の図書室の環境や雰囲気とは異なっている。

### 3. 業務内容

1) 図書業務は係員1名が担当し、医学関係図書・雑誌の発注、受入から貸出管理、文

献相互貸借、「ライブラリーニュースレター」の発行、新任医師への図書室利用の案内、院外各ネットワークへの事業参加、図書委員会（年4-5回）の開催等全般の管理運営を行っている。また年2回発行の院内医学雑誌の編集事務局として原稿募集、校正の仲介、発送準備、医学雑誌編集委員会（年2回）の開催を行っている。そして診療録管理委員会の書記も担当している。

2) 受け入れている資料は、図書費で購入した医学関係図書・雑誌が主であるが、院内医学雑誌(1974年)を発行している関係で各病院・大学からの寄贈・交換誌が約160誌程度ある。

その他に庶務係を経由して届けられる資料があり、そのなかには島根県内機関で発行された冊子・広報誌等はもとより当院が関連している団体・機関からのものがある。

3) 情報検索環境として閲覧室に設置のスタンドアローン型パソコン1台で医学中央雑誌とMEDLINE版のCD-ROM検索とインターネットの両方が使えるようになっている。また利用者層を考慮し冊子体の索引誌（医学中央雑誌、最新看護索引等）も備え対応している。

4) 文献複写相互貸借

相互貸借については、各ネットワークに加入し対処しているが、年々件数も増加し業務比重が高くなっている。増加への対応として、申込文献の再確認、各医師への雑

誌寄贈の依頼、各機関・団体へ院内医学雑誌を活用しての交換・寄贈依頼、看護関係で申込依頼の多い資料の購入、看護局への看護関係発行資料の寄贈依頼を行っている。そして近隣の看護短大・医科大学の図書館利用の紹介等を試みている。

相互貸借に欠かせないFAXは当科にも設置され、医師の連絡用としても利用されている。

#### 4. 最近の図書室利用状況

1) 閲覧室は、本来の図書閲覧利用に加え月末月初めのレセプト点検や小会議、パソコン研修に使用されており利用者の出入りが頻繁である。

2) CD-ROM・インターネットが使える環境になり国内・国外の医学関連情報に加え新聞等の一般情報など幅広くみられるようになった。半年研修できている海外からの留学生にも活用されている。また、当院ホームページ作成の参考資料にと使用方法等の相談を受けることもありインターネットへの関心が高まってきた。

CD-ROM導入当初は、利用者がパソコンに不慣れなため、不正終了によるトラブルも生じたが、最近では、電子カルテ運用の新病院に向けてのパソコン研修により解消されてきた。

#### 3) 各局の利用状況

- ・当科では、医学資料が手元にありすぐ閲覧・入手できるため、診療録業務担当者の医学知識の習得、病院の住所調べ、また最近では、診療情報管理士の通信教育の参考資料として利用されている。
- ・医療局では、新着雑誌のブラウジング、診療・研究の為にインターネット、CD-ROMでの文献検索に良く利用されている。文献複写依頼も多い。
- ・看護局では、年間の研究計画が立てられており一時的に検索・複写依頼が集中する。その後は断続的で「最新看護索引」「日本看護学会集録」の冊子体索引誌を

利用されることが多い。CD-ROM検索は、依頼者に時間の余裕がある場合その都度、個別に検索指導を行っているが継続性が無いため代行検索を行うことが多い。相互貸借の利用は医師に次ぎ多い。

- ・医療技術局では、カンファレンス用、患者指導用のために利用されることが多い。なかには依頼内容により、インターネットから資料提供することもある。相互貸借の利用申込も時々ある。
- ・事務局に関する資料は、総務課庶務係で保管されていたが、図書室で保管される方が探す手間が省けて、利用し易いとのことで、現在では、事務局の資料のほとんどが医療情報管理科の管理となり事務局からの所蔵状況の問い合わせ、貸出利用が増えつつある。
- ・図書室の利用度は各局により異なりCD-ROM検索、インターネット機能が、医療局以外は、十分な活用がされていなかったが、幸い新病院に向けパソコン研修が全職員に行われ各科(課)にインターネット・ホームページ作成が要求されてインターネットに対する関心も高まり利用者が増加している。今後新病院に向かって担当者も研鑽し計画的に検索指導等のオリエンテーションを行っていく必要がある。

#### 5. まとめ

このような状況のなか、従来事務局(医科点数表の解釈等毎年発行され複数冊購入する事務関係書)と医療情報管理科(医学関係書)で個々に管理していた図書費と窓口の一元化が見直しされ医療情報管理科で管理運営した方が適切との意見が出された。

「物・情報」の一元管理の形態が整いつつある。

今後は、院内ネットワークを考慮した良質な情報の提供を行い全職員に利用される医療情報センター的役割の果たせる図書管理を行い次のステップに向けての体制を確立していきたい。

表 医療情報管理科概要 (図書関連)

1.	面積	265 m <sup>2</sup>	
2.	座席数	18席	
3.	機器	業務用ネットワークパソコン	1台
		情報検索用パソコン	1台
		FAX (FAX/コピー)	1台
		コピー機	1台
		ワードプロセッサ	1台
		英文タイプライター	2台
4.	資料		
	受入雑誌	和雑誌 250誌	
		洋雑誌 53誌	
	蔵書数	図書 10,250冊	
		製本 13,000冊	
5.	文献複写相互貸借件数		
		H10年 4月-1月現在	H9年度
	申込件数	673件	689件
	受付件数	807件	924件
6.	図書委員会	医療局 3名	
		看護局 2名	
		医療技術局 2名	
		事務局 1名	
		計 8名	
7.	加入ネットワーク等		
	①	近畿病院図書室協議会 (機関加盟会費有り)	
	②	病院図書室研究会 (個人 会費有り)	
	③	島根県医療関係機関図書館(室)懇談会 (機関 会費なし)	
	④	中国四国地区医療機関図書室(館)ネットワーク (機関 会費なし)	
	⑤	医療研修推進財団のVMLへの目録提出	
	⑥	学術情報センターNACISIS-CAT欧文編へ参加	